

# 場別のオリ展と1着率の相関係数 1周タイムが着順と最も相関あり！

## ▼場別のオリジナル展示タイムと1着率の相関係数

	桐生	戸田	江戸川	平和島	多摩川	浜名湖	蒲郡	常滑	津	三国	びわこ	住之江
展示タイム	0.09	0.14	-	0.06	0.12	0.12	0.13	0.10	-	0.10	0.13	0.11
1周タイム	-	0.18	-	0.18	0.23	0.18	0.20	0.23	-	0.19	0.20	0.20
半周タイム	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
まわり足タイム	0.13	0.09	-	0.16	0.08	0.18	0.24	0.12	-	0.17	0.24	0.19
直線タイム	0.07	0.12	-	0.02	0.12	0.01	0	0.13	-	0.08	-0.02	-
最も相関がある	半周	1周	-	1周	1周	まわり足	まわり足	1周	-	1周	まわり足	1周

  

	尼崎	鳴門	丸亀	児島	宮島	徳山	下関	若松	芦屋	福岡	唐津	大村
展示タイム	0.10	0.12	0.13	0.10	0.12	0.11	0.10	0.09	0.11	0.13	0.10	0.09
1周タイム	0.22	0.17	0.22	0.18	0.16	0.21	0.21	0.23	0.24	0.28	-	0.15
半周タイム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
まわり足タイム	0.26	0.07	0.13	0.04	0.05	0.23	0.18	-	0.22	0.19	0.18	0.08
直線タイム	-	0.13	0.17	0.07	0.11	-	0.09	0.10	0.12	0.06	-0.01	0.11
最も相関がある	まわり足	1周	1周	1周	1周	まわり足	1周	1周	1周	1周	1周	1周

※データは2023年10月12日～2024年10月12日を集計

### オリ展、どう使ってる？

各種オリジナル展示タイム（以下オリ展）は機力を伝えるデータとしていまやほとんどの場で導入され、ファンは大いに活用しているが、展示タイム以外のタイム（1周タイム/直線タイム/まわり足タイム）と着順との関連性に関してはデータの活用がまだ進んでおらず、各個人が自身の経験とカンで元におのおのが独自の理論で活用していることが多いと思う。例えば私のオリ展活用方法は「1号艇のまわり足タイムが悪ければ切り」だが、これで舟券的中をした記憶は全くない。

攻略データLABOの一員として、オリ展の理解度が低すぎるのはイケてなさすぎる……とてことで、データサイエンティストに相談すると、1週間ほどで場別のオリ展と着順の相関度を数値化した資料を作ってくれた。（上表）表の数値に関しては数値が大きければ大きいほど関連度が高いと思ってもらえればOKだ。

最初に断っておくと、江戸川と津に關しては展示タイムの公開しかないため、今回は扱わないこととする。あくまで、「オリジナル展示タイムのうちどの項目が着順に關係があるのか？」をメインにレポートするためだ。

### 新常識が次々と…

オリ展と着順と最も相関があると機械学習が判定した項目はなんと、「1周タイム」であることが判明した。22場のうち16場で最も相関がある項目として判定されているのはかなりの衝撃がある。

ついで浜名湖や蒲郡を中心に「まわり足タイム」が最も相関がある項目として挙げられるが、蒲郡や徳山では1号艇のまわり足タイムが他場と比較すると圧倒的に出やすく、単純に1号艇の勝利がデータを押し上げている可能性がある。

伸びを示すと言われている「展示タイム」と着順の相関度が低いのは本当に意外だった。平和島・大村・桐生ではさっぱりと言っているほどの相関関係だ。

最後に直線タイムだが、丸亀以外では展示タイムよりも着順との関係が低い場が多く、びわこや唐津に關してはむしろ逆相関（反比例）の關係と出てしまっている。

現状の研究で結論を急ぐのは早計かと思うが、平和島のオリ展を参考にすれば展示タイムを軽視しつつ1周タイムとまわり足タイムを評価するなどのアジャストが必要になるかもしれない。

詳しい記事はマクールnoteで公開中！

